

市議会だより

大月市

平成 26 年 2 月 28 日発行 No.133

特集

大月市議会が 環境基本計画へ提言

CONTENTS

- ・新たな環境基本計画への提言… P. 2～
- ・平成 25 年第 5 回市議会定例会 P. 4
- (主な議案の内容)…………… P. 5
- (議決結果一覧表)…………… P. 6
- ・一般質問 (代表質問・個人質問) P. 7～
- ・意見書…………… P.15
- ・委員会審査の様子…………… P.16～
- ・広域行政…………… P.18
- ・行政視察研修…………… P.19
- ・議会日誌…………… P.20

猿橋中学校の愛橋活動 (1月 17 日)



大月市議会が 「仮称美しいまち創造条例」を提言

ゴミのないきれいなまちでおもてなし



新たな環境基本計画への提言

大月市長 石井由己雄殿

大月市議会議員 小泉二三雄

私たちのまち大月市は山紫水明の地であるとともに、世界遺産に登録された霊峰富士山が日本一美しく見える地域を、数多く有しております。そこで市議会では、新たな環境基本計画（平成26年～10カ年計画）策定にあたり、議会内に大月市議会美しいまち創造委員会を立ち上げ、議会としての考えを提言としてまとめましたので、計画に反映していただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

提言

市民アンケートで示された市民や事業者の要望・意見を踏まえるとともに、世界遺産の富士山を訪れる人々や市内の山や川、猿橋や岩殿山などの観光名所を訪れる人々のおもてなしとして、ゴミのない美しい環境を整えるべく、この期を逸することなく「仮称大月市美しいまち創造条例」の制定を環境基本計画の中に、策定年次を明記し盛り込むことを提言します。

環境基本計画案及び条例案作成に際しては、特に配慮していただきたい事項について

- I 市民等の自主的な環境保全活動に対する支援
- II ゴミ0の実現と意識啓発を促進するため市民一斉清掃デーの実施
- III 市民等の意識啓発の一環として里山や森の保全、花などの栽培やガーデニング、ゴミ拾いなどで貢献、実績を上げていく個人、団体の紹介や表彰
- IV 地域の環境と安全を阻害する空き地、空き家の適正管理
- V 飼い犬や飼い猫の管理義務とペットの野生化の防止
- VI 放置自動車・自転車等の撤去・処分
- VII エネルギーの地産地消促進
- VIII 景観保全条例との連携
- IX 条例の順守を確実にするため罰則を規定する

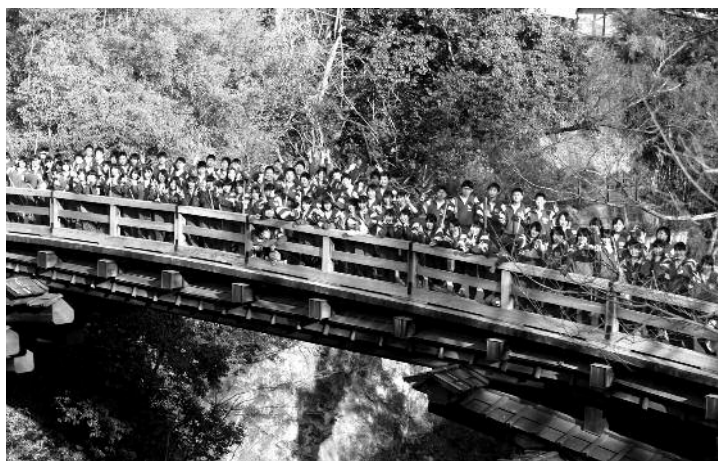
大月市議会
美しいまち創造委員会

委員長 大石源廣
副委員長 山田政文・藤本 実
委員 奥脇一夫・古見金弥

これまでの地道なとりくみに光をあて さらに、環境美化をまちづくりに生かす

猿橋中学校の愛橋作業

猿橋中学校では毎月愛橋作業を行っている。1月は17日に3年生、29日に2年生が清掃活動を行った。昭和29年頃から始まった猿橋中の名勝猿橋周辺の清掃活動に、平成19年国土交通大臣表彰がされている。



30年ほど前の現在の橋への架け替え工事について、校長先生は生徒たちに「愛橋作業を続けていた皆さんの先輩たちが中心的な役割を果たした」とお話している。自分たちが守る橋との思いが、親子へ脈々とつながってきた。ふるさと教育の理念が息づいている。

30年ほど前の現在の橋への架け替え工事について、校長先生は生徒たちに「愛橋作業を続けていた皆さんの先輩たちが中心的な役割を果たした」とお話している。自分たちが守る橋との思いが、親子へ脈々とつながってきた。ふるさと教育の理念が息づいている。



街なかクリーンアップ作戦

大月商店会、地元企業、大月を良くしよう市民の会などで構成する大月駅周辺一斉清掃作業が、毎月第3週木曜日午前8時から行なわれている。45回目となる1月16日には20人程がゴミ袋を持って集合した。大月市の玄関口として、おもてなしの気持ちを持って、また各企業からは地域への社会貢献活動として進められている。(市職員管理職会は第2週木曜日)

商店街理事長は「いつもは今日の3倍ほど人が集まるが、みんなで一斉に取り組むところに意味がある。さらに広げたい」と話している。

本市の環境美化関係の条例

大月市空き缶等の散乱防止及び回収に関する条例

(昭和60年2月1日)

・目的

空き缶等の散乱防止及びその回収に関し、必要な事項を定めることにより、地域の環境美化の促進を図り、もって良好な生活環境を

保全することを目的とする。

大月市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

(平成10年3月27日)

・目的

廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および浄化槽法に定めるもののほか、必要事項について定めることを目的とする。



大月市議会第5回定例会

こんな事が決まりました。

12月3日～20日（18日間）



今定例会の議案

（審査付託先）

市長提出

条例案件……………11件（各常任委員会）

補正予算案件……………9件（各常任委員会）

その他案件……………2件（各常任委員会）

議会提出

請願……………2件（各常任委員会）

主な議案の内容

条 例

◎大月市子育て支援医療費
助成金支給条例中改正の件

新年度から医療支援
助成が中学生の通院
費用まで拡大されま
す。

子育てしやすいまちの実
現を図るため、中学生の入
院費用までとしていた子育
て支援医療費の助成対象を
通院費用まで拡大します。

◎大月市病院事業の設置等
に関する条例中改正の件

中央病院の「産婦人
科」の標榜を「婦人
科」に改めます。

中央病院では、全国的な
産科医不足の中、産婦人科、
小児科、麻酔科の常勤医師
確保が難しく現在是不在で
あり、分娩ができない状況
にあること等の理由から、
「産婦人科」の標榜を「婦人
科」に改めます。

予算（補正）

◎平成25年度 大月市一般
会計補正予算（第4号）

補正 総額

（11億1、300万円余増）

歳出の主な補正内容

民生費

（1億300万円余増）

- ・介護保険特別会計繰出金
- ・障害者自立支援事業費
- ・生活保護費関係
- 衛生費

（3億8、100万円余増）

- ・成人健診事業
- ・病院事業への補助・繰入金

消防費

（6億3、800万円余増）

- ・消防指令センター・救急
- デジタル無線整備事業
- ・高規格救急自動車整備事

業

歳入の主な補正内容

分担金及び負担金

（2億3、000万円余増）

繰入金

（2億2、800万円余増）

繰越金

（1億4、000万円余増）

市債

（3億5、100万円余増）

◎平成25年度 大月市大月
短期大学特別会計補正予算
（第2号）

歳出

歳入

- ・職員給与費の見直し

歳入

- ・前年度繰越金の計上
- ・一般会計繰入金の減額

◎平成25年度 大月市国民
健康保険特別会計補正予算
（第1号）

歳出

- ・ 出産費資金貸付基金分の積立

- ・ 前年度給付費の確定に伴う国県支出金等の精算による返還金の追加

- ・ 職員給与費の見直し

歳入

- ・ 繰入金、前年度繰越金の追加

◎平成25年度 大月市簡易水道特別会計補正予算

水道特別会計補正予算

(第1号)

歳出

- ・ 前年度精算に伴う一般会計繰出金、基金積立金の追加

- ・ 職員給与費の見直し

歳入

- ・ 前年度繰越金の追加
- ・ 一般会計繰入金の減額

◎平成25年度 大月市下水道特別会計補正予算

道特別会計補正予算

(第1号)

歳出

- ・ 職員給与費の見直し

歳入

- ・ 前年度繰越金の追加
- ・ 一般会計繰入金の減額

◎平成25年度 大月市介護保険特別会計補正予算

保険特別会計補正予算

(第2号)

歳出

- ・ 保険給付費の執行見込みによる増額

- ・ 職員給与費見直し

歳入

- ・ 国・県支出金、繰入金及び前年度繰越金の追加

◎平成25年度 大月市介護サービス特別会計補正予算

サービス特別会計補正予算

(第1号)

歳出

- ・ 介護予防支援事業費の追加
- ・ 一般会計繰出金の減額

歳入

- ・ 前年度繰越金の追加

◎平成25年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算

算(第1号)

歳出

- ・ 前年度精算による一般会計繰出金の追加

歳入

- ・ 前年度繰越金の計上

事業会計補正予算

(第1号)

収益的収入

- ・ 医業収益

(4億8、700万円余減)

- ・ 医業外収益

(3億5、600万円余増)

一般会計からの補助金・

県補助金等

収益的支出

- ・ 医業費用

(7、600万円余減)

給与費、材料費の見直し

資本的収入

- ・ 補助金

(3、700万円余増)

地域医療再生計画補助金

及び災害拠点病院施設・設備整備費補助金

資本的支出

- ・ 建設改良費・看護師修学資金貸付金

(4、300万円余増)

新病棟建設事業・医療機器整備事業・看護師修学資金貸付金

その他

◎権利の放棄の件

大月市土地開発公社解散に際し、約13億円の求償権をやむなく放棄します。今後このような事態を招かめよう議会としては、付帯事項(16ページ参照)を付けて可決致しました。

大月市土地公社の解散に伴う債務21億9、522万5、674円を市が代位弁済し、その代わりに公社からは保有地による代物弁済を受けましたが、土地鑑定評価に基づき算定した時価が8億9、578万8、000円であることから、12億9、943万7、674円の差額が生じています。公社にはそれ以外の資産はなく、市は、その差額を請求する権利を放棄せざるを得ない状況となっており、地方自治法の規定により議会の議決を求めるものです。

◎市道の路線変更認定の件

市道仲山1号線の路線変更について、道路法の規定により議会の議決を求めるものです。

◎議員の派遣

平成25年度山梨県市議会議長会議員合同研修会(2月13日)に議員全員を派遣します。

○派遣目的

研修「市議会議員としての危機管理について」

請願

◎請願第5号

新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の提出を求める請願

〈採択となりました。〉

意見書は15ページをご覧ください。

◎請願第6号

「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願

〈継続審査となりました。〉

平成25年12月定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● 棄権―) ※小泉二三雄議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	天 野 祐 治	大 石 源 廣	相 馬 保 政	奥 脇 一 夫	後 藤 慶 家	古 見 金 弥	西 室 衛	小 原 丈 司	山 田 善 一	卯 月 政 人	山 田 政 文	鈴 木 章 司	小 林 信 保	藤 本 実	結 果
条例	第77号	大月市職員定数条例等中改正の件															原案 可決
	第78号	大月市立大月短期大学附属高等学校授業料等徴収条例等廃止の件															
	第79号	大月市税外収入金の督促及び滞納処分に関する条例中改正の件															
	第80号	大月市後期高齢者医療に関する条例中改正の件															
	第81号	大月市介護保険条例中改正の件															
	第82号	大月市下水道事業受益者負担金等に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第83号	大月市立中央病院看護学生等に対する修学資金貸与条例中改正の件															
	第84号	大月市財産区議会設置条例中改正の件															
	第85号	大月市子育て支援医療費助成金支給条例中改正の件															
	第86号	大月市国民健康保険出産費資金貸付事業条例廃止の件															
補正 予算	第87号	大月市病院事業の設置等に関する条例中改正の件															原案 可決
	第88号	平成25年度 大月市一般会計補正予算(第4号)															
	第89号	平成25年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算(第2号)															
	第90号	平成25年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)															
	第91号	平成25年度 大月市簡易水道特別会計補正予算(第1号)															
	第92号	平成25年度 大月市下水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第93号	平成25年度 大月市介護保険特別会計補正予算(第2号)															
	第94号	平成25年度 大月市介護サービス特別会計補正予算(第1号)															
	第95号	平成25年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)															
その他	第96号	平成25年度 大月市病院事業会計補正予算(第1号)	○	●	○	●	○	○	○	●	○	—	●	○	●	○	原案 可決
	第76号	市道の路線変更認定の件	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
請願	第97号	権利の放棄の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
	請願第5号	新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書	請願第6号	「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願															継続 審査
	意見書第5号	新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	

12 月定例会

一般質問

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、7名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

(1) 後藤慶家議員 (清風会) 8 ページ

- ①医師確保への取り組みは
- ②大月短期大学の耐震改修工事の計画は

(2) 小原丈司議員 (山と川の街大月) 9 ページ

- ①認知症高齢者見守りネットワーク事業の進捗状況は
- ②まるたの森クリーンセンター設置契約期間満了後の方向性は

(3) 山田善一議員 (NEW・OTSUKI) 10 ページ

- ①中央病院の26年度、27年度の経営計画は
- ②5年後の実質公債費比率は下がるのか

(4) 山田政文議員 (スマイル) 11 ページ

- ①市の文化財に対する考え方を問う
- ②笹子町のバイオマス発電事業の見通しは

(5) 西室 衛議員 (公明党) 12 ページ

- ①市民生活向上に対する重点施策は
- ②透析患者増加に伴う対応策は

(6) 藤本 実議員 (日本共産党) 13 ページ

- ①介護保険制度見直しへの市の対応は
- ②デマンドバス・タクシーの運行は

● 個人質問

(7) 小林信保議員 (スマイル) 14 ページ

- ①F T ネットのメリットは
- ②行動する市民を作り出すための取り組みは



市政を問う

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録(2月下旬発行予定)を図書館及び市のホームページ(<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>)で閲覧することができます。

代表質問

清風会
後藤 慶家Q 大月短期大学の耐震改修
工事の計画はA 新たに大学棟の新增改築
を計画しています

に低い水準に抑えられている状況です。

こうした中、近年、関西の公立病院を中心に、医業収益の一部を原資とした人事評価制度により処遇の改善がなされています。優秀なやる気のある医師を採用し、育成するためにも必要であると考えていますので、今後必要な条例の改正も含め、医師の人事評価制度の導入を検討してまいりたいと考えています。

また、社団法人日本内科学会が認定する教育関連病院としての施設基準が、もう一步の段階まで到達していることから、早期に臨床研修医を指導できる教育施設となり、中長期的に安定した常勤医師確保への展望を切り開いてまいりたいと考えています。

Q 医師確保への取り組みは

A 中長期的に安定した常勤
医師確保への展望を切り開
いてまいりたい

問 大月市立中央病院の常勤医師確保への取り組みについて、お聞かせ下さい。

答 市長

信頼関係に立った診療への感謝の気持ちは、医師を定着させ、常勤医をふやしていくことに欠かせない考

え方であると思います。

また、常勤医をふやし、医師のモチベーションをさらに引き出すことは、病院経営の健全化に不可欠と考えます。

一方、公立病院の勤務医の給与等処遇は、公務員としての給料表に規定された給料、手当に基づくことから、民間病院に比べ、相当

問

大学の事務棟、サウス棟（図書館）の耐震改修工事と外壁の汚れと剥離が目立ちますが補修工事の計画はありますか。

また、センター棟の屋根がさびています。このことは23年度決算審査の時に指摘しましたが、まだ、工事に着手していません。今回のエレベーター工事と一緒にこなうことができませんか。

答

総務部長

短期大学の施設のうち、事務局棟及び図書館棟並びに高校棟は、老朽化が著しいため、解体し、新たに大

学棟の新增改築を計画しています。本年度基本設計を行っており、平成26年度に実施設計を行い、その後、新增改築工事を行う計画です。また、センター棟の屋根のさびどめについては、ただいま申し上げました新増改築計画の中に組み入れ、外壁の塗装を含めて補修を優先して行う計画です。



大月短期大学

代表質問

山と川の街大月
小原 丈司

Q 認知症高齢者見守りネット ワーク事業の進捗状況 は

A 「みまもりネット」「SOS 通信」の2つのネット ワーク事業を展開

問 認知症の高齢者が地域
で安心して生活できる
よう、民生委員や郵便
局、路線バス業者、タ
クシー業者の方々と共
に、常時見守りのでき
るネットワーク事業の
進捗状況についてお聞

かせ頂きたい。

答 市民生活部長

本年度、平成25年度より
高齢者のための「みまもり
ネット」それから「SOS
通信」の2つのネットワー

ク事業を展開しています。

まず、みまもりネットに
ついてですが、個人宅を訪
問する機会の多い事業所と
協定を結びまして、訪問の
際に郵便物がたまっている
とか、いつもと言動が違う
など異変を感じた場合、地
域包括支援センターへ連絡
をいただくこととしていま
す。これまでに郵便局及び
配食サービス事業者1社と
協定を締結したところです。

また、SOS通信は、認
知症高齢者の徘徊時に早期
発見を目的とし、認知症家
族等が警察に捜索願を届け
る際に、希望された場合、
警察からの要請により防災
無線で放送する内容を地域
包括支援センターから協力
事業所や協力者の携帯メー
ル等へ発信することとして
います。

民間事業者、民生委員等、
大月警察署及び大月市の協
働のもと、これまで民生委
員の方や市内のタクシー
事業者、路線バス事業者に
メール登録をいただいてお
ります。

Q まるたの森クリーンセン ター設置契約期間満了後 の方向性は

A 早い段階で広域事務組合 としての方向性を定めて 行きたい

問 まるたの森クリーンセ
ンターの設置契約期間
が31年11月30日に満了
となるが、以後のお考
えをお聞かせ頂きたい。

また、地元初狩地区と
約束が交わされている
初狩バイパスへの対応
と見通しは。

を定めてまいりたいと考え
ています。

次に、初狩バイパスの建
設促進に対しましては、あ
の笹子トンネル事故の際の
教訓を忘れないよう、国が
山梨県全体の問題として初
狩バイパス計画の熟度をさ
らに上げ、早期に事業採択
していただくこと、そして
大月バイパス2工区を早期
完成していただくことを目
指し、粘り強く要望等を行
ってまいりたいと考えてい
ます。

答 市長

契約満了期間が、残り6
年あるとはいえ、初狩町と
のこれまでの経緯等勘案す
る中で、大月、都留両市で
熟慮を重ね、早い段階で広
域事務組合としての方向性

代表質問



NEW・OTSUKI

山田 善一

Q 中央病院の26年度、27年度の経営計画は

A 26年度の医業収益は約25%増額する見込み

問 医業収益予想はどのよう
に推移していくのか。

答 病院事務長

平成26年度の医業収益は、平成24年度の決算額に比べ、入院収益は約30%の増額、外来収益が約8%の増額、合わせて約25%増額の22億7、200万円を目標としています。

平成27年度においては、平成26年度と比べ、医業収益は7、100万円多い23億4、300万円、また医

業費用は4、100万円増の26億400万円を見込んでいます。

なお、平成26年度、平成27年度では、赤字補填額2億円を目標に努力していきます。



大月市立中央病院

Q 5年後の実質公債費比率は下がるのか

A 未利用地の処分を進め歳入の確保に努める

問 5年後の実質公債費比率は下がるか見通しているが、インフラ整備等の増大する予算が見込まれる中、計画が予定通りに行くのか。

答 総務部長

平成29年度の20%をピークに減少する見込みとしました。この要因は、一般会計の公債費の上昇、土地開発公社等改革推進債の返済、特別会計及び病院事業会計に係る公債費の上昇も続くため新規の投資的経費は抑制しなければなりません。未利用地の処分や利活用を積極的に推進し、歳入の確保に努めるとともに、歳出

削減の徹底、借り入れを抑制し、実質公債費比率の改善を早期に図り、財政運営を行ってまいります。

その他 中央病院関連質問

問 他市との連携の話は進んでいるのか。

問 専門職員を増やすのは何故か。

問 4月からのER救急が出来るのか。

問 病院の資金計画について